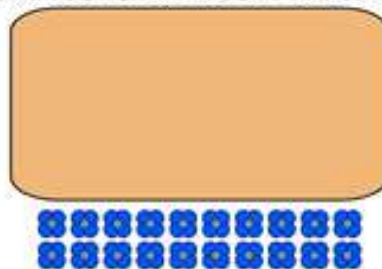


- 1 実施日時 令和5年10月20日（金）
- 2 実施学年 第2学年
- 3 実施教科 算数
- 4 単元名 「かけ算（1）」
- 5 学習の流れ

じぶんでしきを考えて、おはじきをならべましょう。



かけ算のしきをおはじきであらわそう

- 1 かけ算の式をみて、その式をおはじきで表す。
- 2 おはじきを並べた形とその理由を説明しあう。
- 3 自分でかけ算の式を考えて、おはじきをならべる。
- 4 自分の並べたおはじきを見せ合って、友達が考えた式を答え合う。

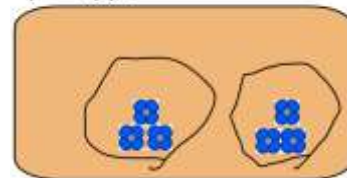
6 Chromebook の活用

- スクールタクトを活用し、実物のおはじきの代わりに、画面上でおはじきの画像を動かして、具体的な操作活動を行う。

7 児童・生徒の様子

子どもたちは、画面上のおはじきを自分の思考に沿って直感的に動かして、式の意味を考えながら、おはじきで表すことができた。学び合いの時間には、スクールタクトのペンツールを用いてまとまりをつくったり、図をかいたりしながら工夫して説明する様子が見られた。考えや図が可視化されることで、式を図や言葉と関連付けて考えることができた。かけ算の式の「かける数」「かけられる数」についての理解より深まった。

ア 3×2



また、共同閲覧モードにて他の人が作った問題を閲覧し、様々な考えを同時に比較することで、並べ方の共通点や相違点に気付く児童が多く見られた。

8 振り返り

スクールタクトを活用し、画面上でおはじきを操作することで、準備・配布の時間を短縮することができた。また、児童が途中でおはじきを落としてしまうこともなく、スムーズに学習活動を進めることができた。具体物を操作する学習活動では、複数の問題に取り組む際、取り組む問題ごとにおはじきを崩さなければならない。しかし、ICT 機器を活用することで、動かしたおはじきや書き込んだ線などがページ上に残る。それを共同閲覧することで、様々な考え方を自分のペースで比較・検討することができる。このように、実際のおはじきを使うよりもよりスムーズかつ効果的にかけ算の式について考えることができた本実践は、児童の学びを深めるのに効果的であった。

今後は、説明時に使用したページを印刷してノートに残したり、それをもとに黒板で授業を進めたりするなど、より発展的に活用する方法も検討していく。

